

Fujitsu Tablet STYLISTIC

**タブレットの取り扱いについて
(STYLISTIC Q5011 / Q5010 用)**

～マニュアルとあわせてお読みください～

FUJITSU

はじめに

富士通タブレットをご利用いただき、誠にありがとうございます。

この文書は、タブレットをお使いになるうえで、特にご注意いただきたい取り扱いについて記載しています。必要に応じて、印刷しお手元においてご利用ください。

また、記載しているタブレットの図や写真は、STYLISTIC Q5011/Q5010 の場合の例です。お使いのタブレットのマニュアルとあわせてお読みください。

商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2024

目次

はじめに.....	2
商標および著作権について.....	2
注意事項.....	4
各部の名称.....	5
本体前面.....	5
本体右側面.....	6
本体裏面／上側面.....	6
スリムキーボード.....	7
タブレットの電源を入れる.....	8
スリムキーボードを使う.....	9
フラットポイント.....	11
タッチパネル.....	14
充電する.....	17
保管について.....	19
その他の使用時の注意事項.....	20
持ち運び.....	22
お問い合わせ.....	24

注意事項

保管場所

タブレットは精密機器です。

- 高温多湿、低温環境は苦手です。
- 直射日光が当たらない場所においてください。高温になることや、紫外線により故障に至る可能性があります。
- 安定した場所においてください。落下等により故障やケガの可能性がります。
- 窓の近くで保管しないでください。
季節により寒暖の差が大きく、結露が発生しやすいため故障の原因になります。
また、直射日光も故障の原因となります。

使用時

- 本体が濡れた場合は、乾いた布でふき取って乾かしてください。
- 画面を強く押さないでください。
机の上に平置きした装置の上を手をついて押さないようご注意ください。
タブレットの上に物をのせたりしないでください。



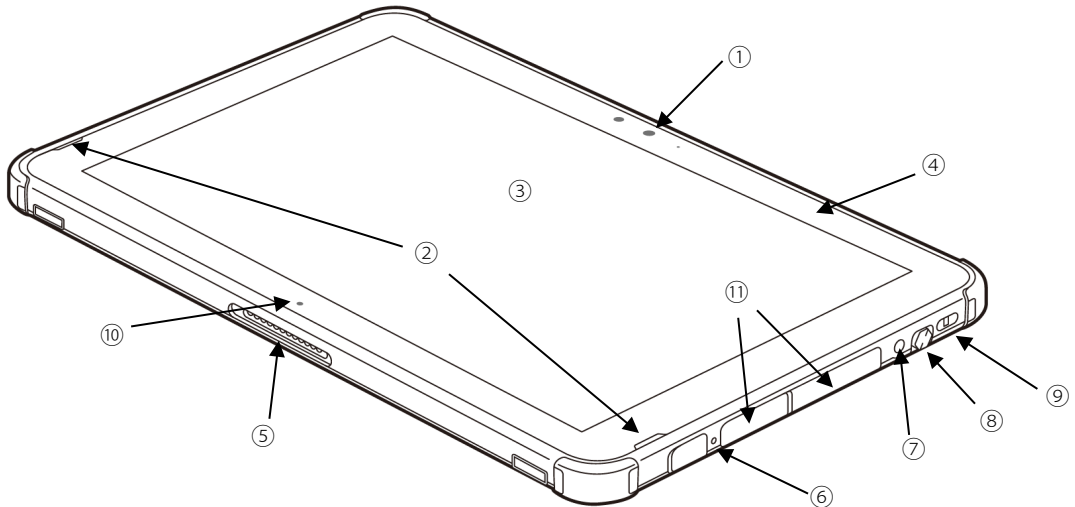
- ペンはやさしく使ってください。以下のようなお取り扱いがペン先の早期消耗の要因となります。
 - ・ペン先でタブレットや机などをたたく
 - ・ペン先を手や指先に押し当てる
 - ・ペンを筆箱、ポケット等に入れて持ち運ぶ
- カメラの部分が汚れていると、カメラで撮影した映像に汚れが映りこむ可能性があります。汚れている場合は、やさしくゆっくりと拭いてください。
- キートップを故意に外さないでください。キートップが外れると取り付けができず修理が必要になります。

各部の名称

STYLISTIC Q5011/Q5010 シリーズの各部の名称は以下の通りです。

そのほかの機種をお使いの場合は、製品のマニュアルをご覧ください。

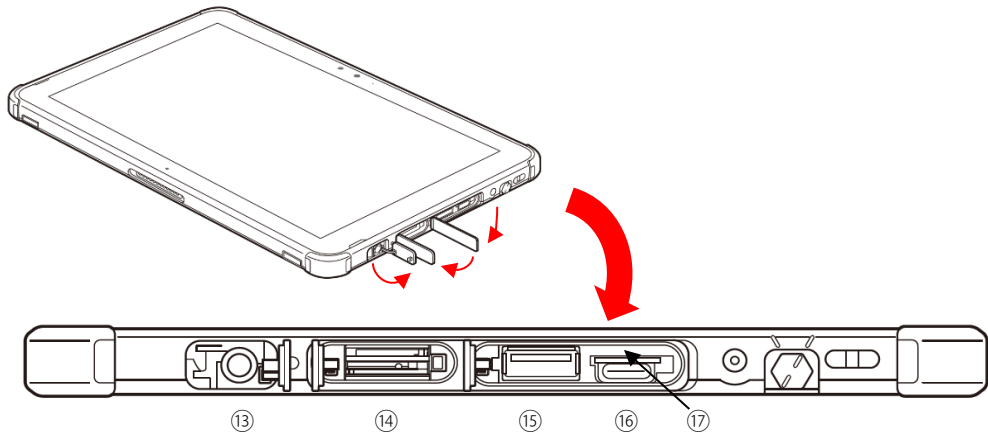
本体前面



- ①フロント Web カメラ 自分を撮影するときに使います。
- ②スピーカー
- ③液晶ディスプレイ/タッチパネル
- ④電源ランプ 本タブレットの状態を表示します。
 白色点灯 …… 動作状態
 白色点滅 …… スリープ状態
 消灯 …… 電源オフ/スリープ状態
- ⑤ドッキングコネクタ スリムキーボードと接続します。
- ⑥バッテリー充電ランプ バッテリーの充電状態を確認できます。
- ⑦ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子 オーディオ機器を接続します。
- ⑧ペンホルダー (ペン) 専用ペンを選択した場合、ペンを格納します。
- ⑨ペンひも取り付け用穴
- ⑩位置合わせマーク スリムキーボードに接続するときに位置を合わせます。
- ⑪端子カバー 端子部からの浸水を防ぎます。端子部を使用しないときは、しっかりカバーを閉じてください。

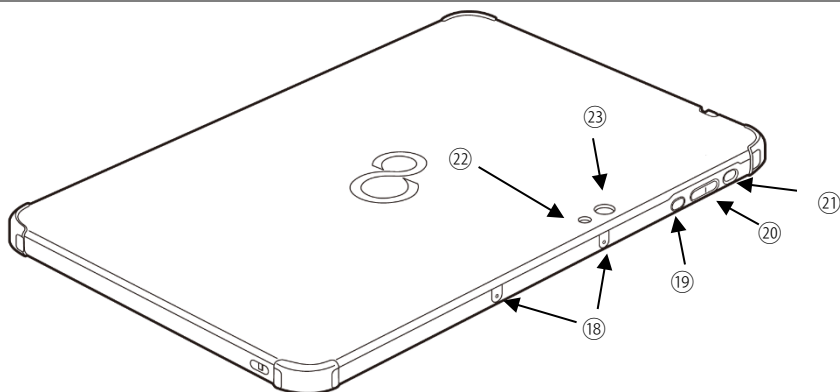
本体右側面

コネクタやスロットを使う場合は、カバーを開けてください。



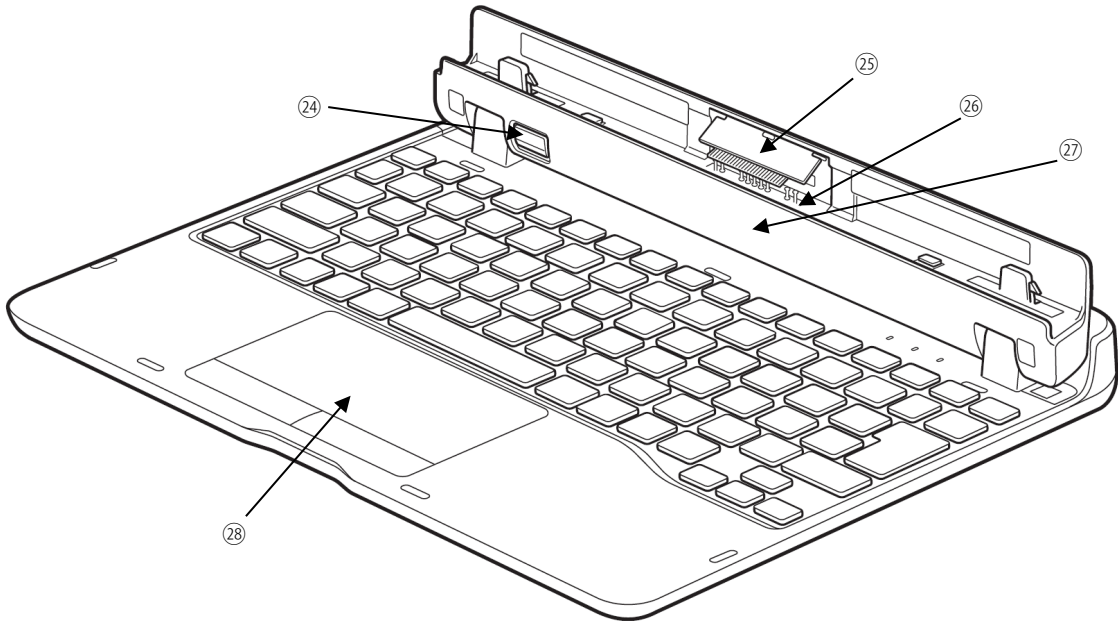
- ⑬DC-IN コネクタ ACアダプタを接続します。
- ⑭ダイレクト・メモリスロット microSDメモリーカードを差し込みます。
- ⑮USB Type-A コネクタ
- ⑯USB Type-C コネクタ
- ⑰強制終了スイッチ

本体裏面／上側面



- ⑱内蔵マイク 音声通話や録音ができます。
- ⑲ショートカットボタン 「Function Manager—QRコードリーダー」を起動します。
※設定によって起動するアプリが異なる場合があります。
- ⑳音量調節ボタン
 ボリュームダウンボタン (－) …… 音量を小さくします。
 ボリュームアップボタン (＋) …… 音量を大きくします。
- ㉑電源ボタン タブレット本体の電源を入れたり、省電力状態にしたりします。
- ㉒リア Web カメラ用ライト 静止画や動画を撮影するときに使用します。
- ㉓リア Web カメラ

スリムキーボード



- ②④取り外しボタン タブレット本体をスリムキーボードから取り外す場合に押します。
- ②⑤ブラシ タブレット本体の着脱時に、本体接続コネクタを清掃します。触らないでください。
※モデルによってはない場合があります。
- ②⑥本体接続コネクタ タブレット本体を接続します。金属部分には触らないでください。
- ②⑦位置合わせマーク タブレット本体に接続するとき位置を合わせます。
- ②⑧フラットポイント 指先の操作でマウスポインターを操作できます。

タブレットの電源を入れる

電源ボタンを押す

1. 電源ボタンはカチッというまでしっかりと押し込んでください。



2. 電源が入り、電源ランプが点灯したことを確認します。



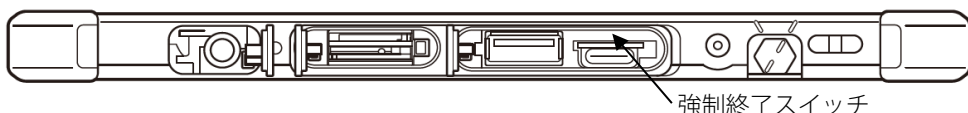
3. 画面が表示され、システムが起動するまで操作せずにお待ちください。

環境によって数分程度かかる場合があります。

起動中にタッチパネル、キーボード、フラットポイントを操作しないでください。

こんなときは

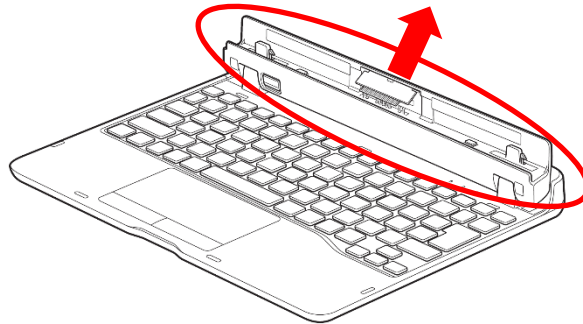
- 電源ボタンを押しても、電源ランプが点灯しない時は、バッテリー残量が少ない可能性があります。添付のACアダプタを接続して充電してください。
「充電する」のページをご覧ください。
- それでも復旧しないときは、右側面の強制終了スイッチを押してください。
なお、ACアダプタやクレードルおよびUSB Type-C 対応周辺機器を接続している場合は必ず取り外し、クリップの先などを差し込んで押すとタブレットがリセットされます。



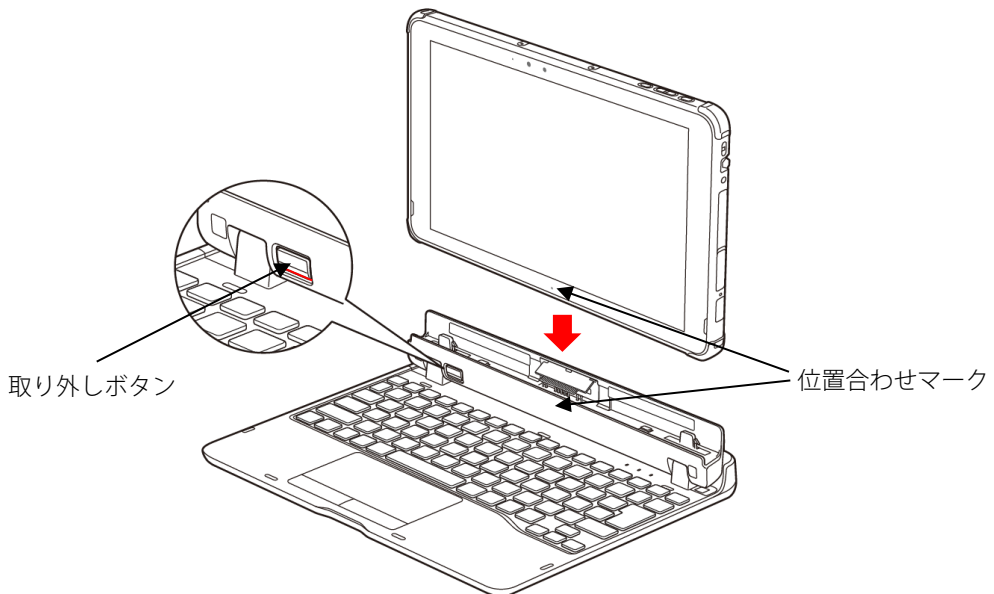
スリムキーボードを使う

キーボードを取り付ける

1. キーボードの本体接続コネクタ部を 90 度を開きます。



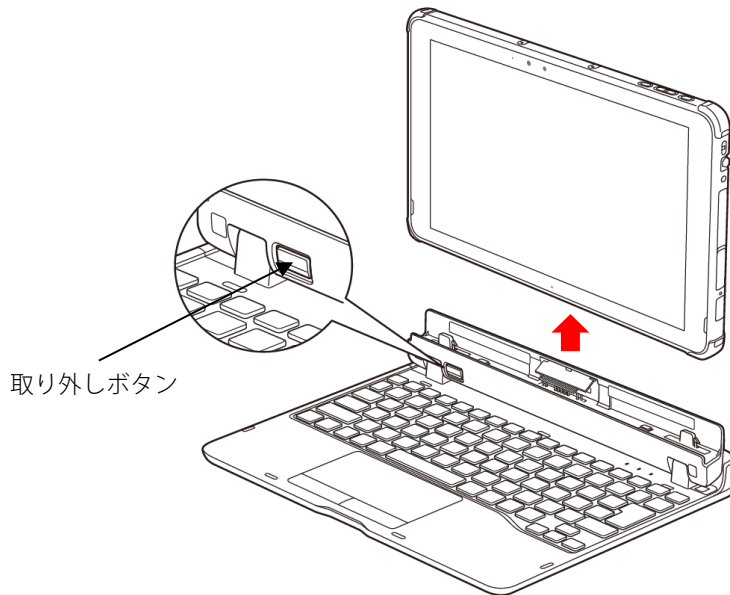
2. キーボードの取り外しボタンを押して、赤いマークが見えていることを確認します。



3. タブレット本体とキーボードの位置合わせマークを合わせます。(タブレット本体とキーボードの目印を合わせます。)
4. タブレット本体を両手で持ってまっすぐ下ろし「カチッ」と音がするまでしっかり取り付けます。下ろし方によっては、「カチッカチッ」と2回音がする場合があります。(タブレット本体右上に電源ボタンがあります。取り付け時に押さないようご注意ください)
5. 接続後タブレット本体を上へ軽く引っ張り、きちんとロックされているか確認します。

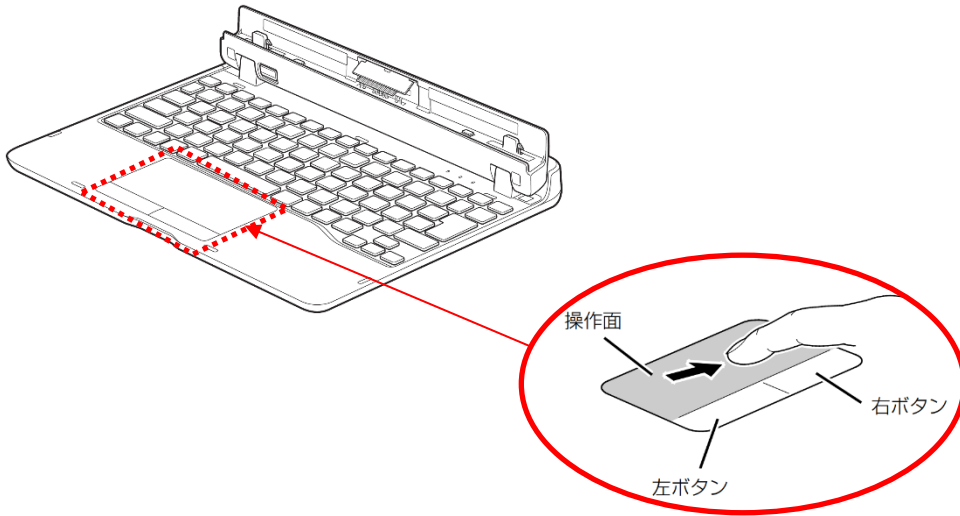
キーボードを取り外す

1. タブレット本体とキーボードを 90 度を開きます。
2. タブレット本体の上側中央部を持ち、キーボードの取り外しボタンを押した状態のまま、タブレット本体をまっすぐ持ち上げます。



フラットポイント

タブレット本体にキーボードを取り付けている場合、フラットポイントを利用できます。
 フラットポイントは、指先の操作でマウスポインターを動かしたり、画面やウィンドウの表示を切り替えたりすることができるポインティングデバイスです。

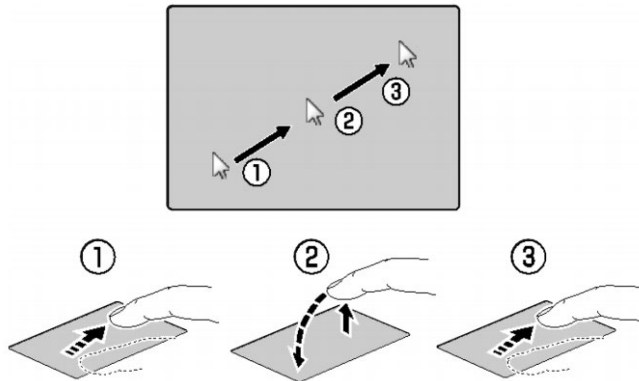


フラットポイントの基本操作

- マウスポインターを移動させる

操作面を指でなぞります。

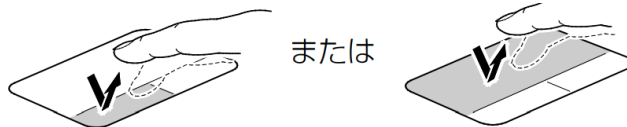
指が操作面の端まできたら、いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインターは動きません。



指を離している間、マウスポインターは動きません。

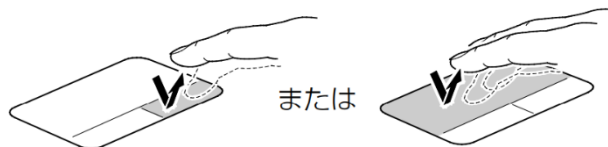
- クリック

左ボタンを1回押してすぐに離すか、操作面を1回軽くたたく（タップする）ことです。



- 右クリック

右ボタンを1回押してすぐに離すか、操作面を2本指で1回軽くたたく（タップする）ことを「右クリック」といいます。



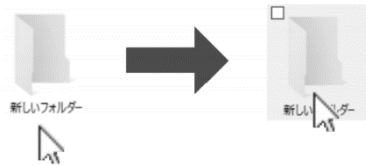
- ダブルクリック

左ボタンを2回連続して押すか、操作面を2回連続して軽くたたく（タップする）ことです。



- **ポイント**

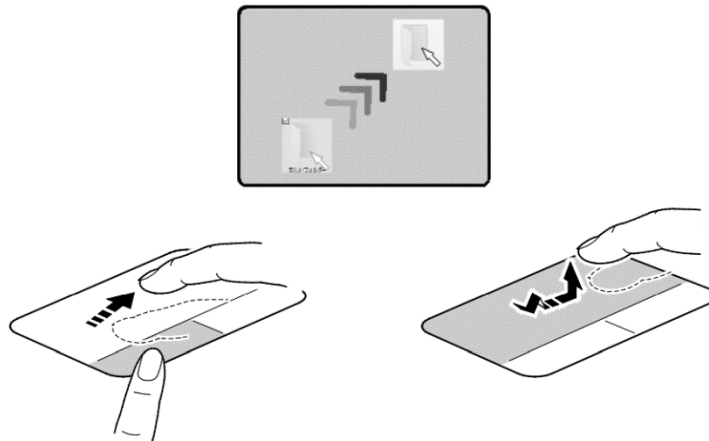
マウスポインターをアイコンやメニューなどに合わせることで、ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。



- **ドラッグ**

アイコンやウィンドウを、マウスポインターでつかむようにして移動させることです。

左ボタンを押したまま操作面をなぞり、希望の位置で指を離します。または、操作面を素早く2回タップし、2回目のタップのときに指を操作面上から離さずになぞり、希望の位置で指を離します。



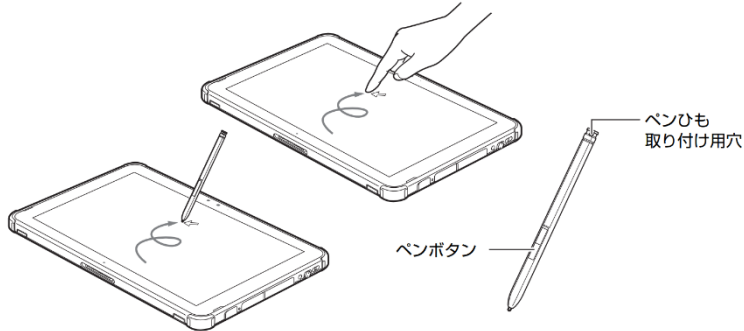
【関連する注意事項】

- ・フラットポイントは操作面表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。
また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいは操作面の表面が汚れている場合は、マウスポインターが正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- ・フラットポイントの操作面で操作するときは、指の先が接触するようにしてください。指の腹を押さえつけるように操作すると、マウスポインターが正常に動作しないことがあります。

タッチパネル

このタブレットのタッチパネルは、タッチ入力と専用ペンでの入力に対応しています。指や専用ペン(*)で画面をタッチするだけで操作できます。

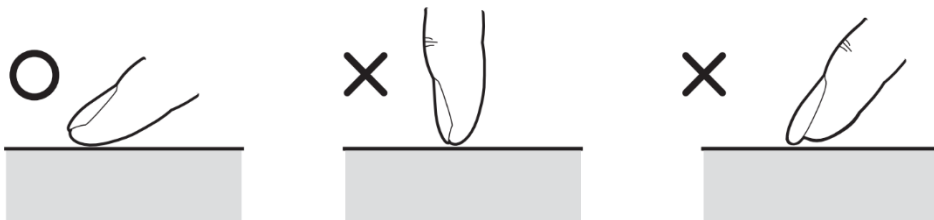
*専用ペンつきモデルを選択した場合のみ。



タッチ入力について

画面に軽く指で触れるだけで操作できます。

- タップや長押しなどの画面操作時は、力を入れる必要はありません。
- つめや手袋をした指では操作できません。必ず、指の皮膚の部分が画面に触れるようにしてください。



- タッチ操作は、指や専用ペン以外ではしないでください。タッチパネル表面の傷や、破損の原因になります。
- 濡れた手や、指先が汚れた状態で操作しないでください。
- キーボード接続状態で強い力で画面をタッチすると、タブレット本体が後ろに倒れる場合があります。



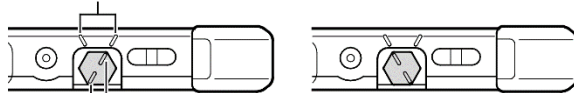
ペン入力について（ペン付きモデルをお使いの場合）

画面に軽くペンで触れるだけで操作できます。

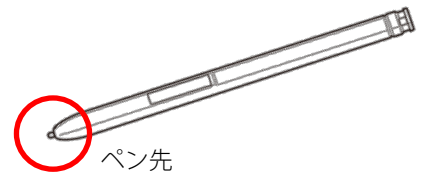
【関連する注意事項】

- タップや長押しなどの画面操作時は、力を入れる必要はありません。
力を入れすぎると、ペン先がつぶれペン先の早期消耗の原因となります。
また、ペン本体およびタッチパネルの故障の原因となります。
- ペン先（芯）は消耗品です。使用しているうちにペン先がすり減ってきます。
（筆圧やタップ時の力が強い場合には、消耗はより早くなります。）
- ペン先を机などに押しつけるなど、強い衝撃を与えないでください。破損の原因となります。
- ペンを使用しないときは、ペン先を保護するためペンホルダーに戻してください。
- ペン先は交換時以外には抜かないでください。
- ペン先が抜けた状態でペンを使用しないでください。液晶ディスプレイ（タッチパネル）に傷などがつく場合があります。
- ペンをペンホルダーに挿し込むときは、ペン側と本体側のマークを合わせて、必ずペン先側から挿し込んでください。
逆側から挿しこむとペンが抜けなくなったり、故障の原因になったりします。
- ペンをペンホルダーに挿し込んでからペンを回転させないでください

本体側のマーク



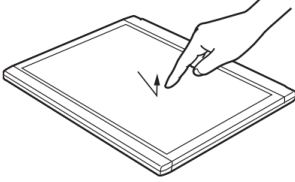
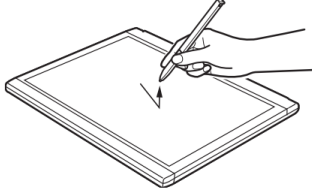
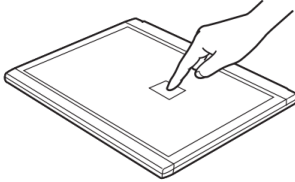
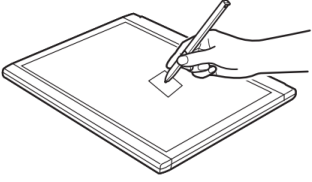
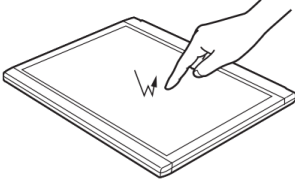
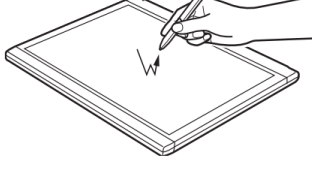
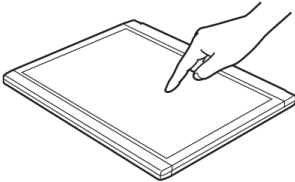
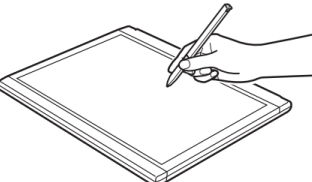
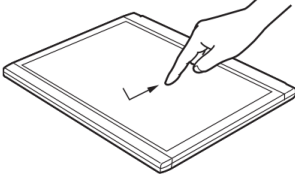
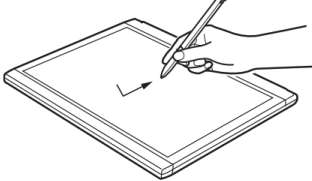
ペン側のマーク



- 液晶ディスプレイ（タッチパネル）にシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。

タッチパネル、ペン入力の基本操作

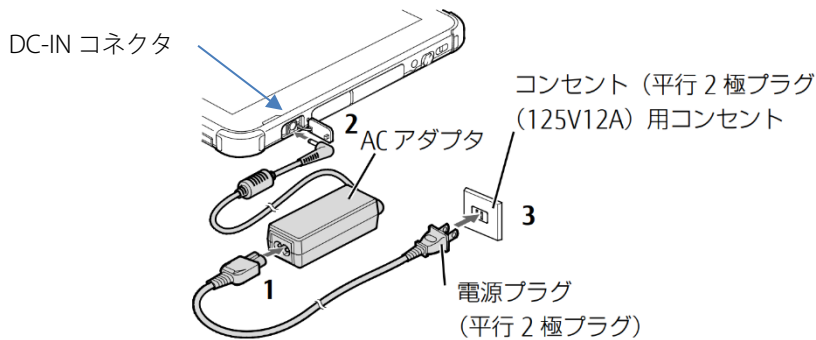
画面上でタップ（マウスのクリックと同様の操作）する場合は、指またはペン先で操作します。マウスポインターは、画面上をなぞった方向に移動します。

機能	指の操作	ペンの操作
タップ	画面を1回軽くたたきます。 	画面を1回押して離します。 
長押し	画面を押し、画面に枠が表示されてから指を離します。 	画面を長押しします。 
ダブルタップ	画面を素早く2回連続して軽くたたきます。 	画面を素早く2回連続で押して離します。 
ポイント	画面に軽く触れます。 	画面に近づけるか軽く触れます。 
ドラッグ	画面に軽く押しつけながらなぞります。 	画面に軽く押しつけながらなぞります。 

充電する

充電するときは、必ず添付の専用 AC アダプタを使用してください。

AC アダプタを使用してタブレットを充電する



- 1.** AC アダプタに電源ケーブルを挿し込みます。(上記図 1)
- 2.** タブレット本体の DC-IN コネクタのカバーを開け、DC-IN プラグを持ってタブレット本体の DC-IN コネクタへまっすぐ挿し込みます。(上記図 2)
- 3.** 電源プラグを持って、コンセントに接続します。(上記図 3)
- 4.** 充電が始まり、バッテリー充電ランプがオレンジ色に点灯します。

バッテリーの充電状態は、バッテリー充電ランプで確認できます。

オレンジ色 …… 充電中

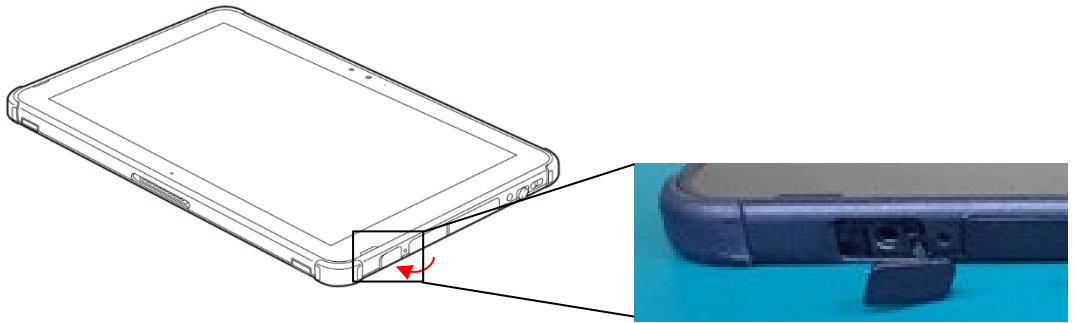
※点滅している場合は、バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎるなどの理由でバッテリー保護機能が働き充電が停止している状態です。バッテリーの温度が正常に戻れば点灯し、充電を再開します。

消灯 …… 充電完了 または AC アダプタが接続されていない



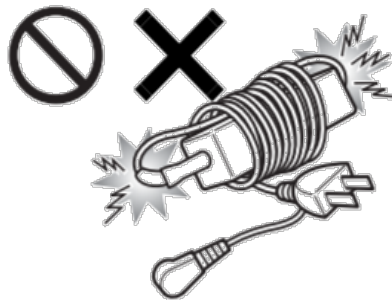
- 5.** バッテリー充電ランプが消灯したら充電は完了です。
AC アダプタを取り外すときは、電源プラグ・DC-IN プラグを持ちまっすぐ引き抜いてください。ケーブルを持って引っばらないでください。故障の原因になります。

6. DC-IN コネクタの端子カバーを閉じてください。



【関連する注意事項】

- AC アダプタ本体に電源コードをきつく巻き付けるなどして、コードの根元部分に負担をかけないでください。電源コードが傷つき、故障や、感電、火災の原因となります。



- タブレット本体を重ねた状態で充電しないでください。充電時の発熱により、故障の原因となります。

保管について

タブレット本体

- ・タブレット本体の上に物をのせたりしないでください。故障の原因になります。
- ・タブレット本体を重ねて保管しないでください。本体が圧迫され故障の原因になります。
- ・不安定なところに保管しないでください。落下するなど故障の原因になります。



AC アダプタ

- ・ケーブルをぐるぐる巻きにしないでください。
ケーブルに負荷がかかり故障の原因になります。



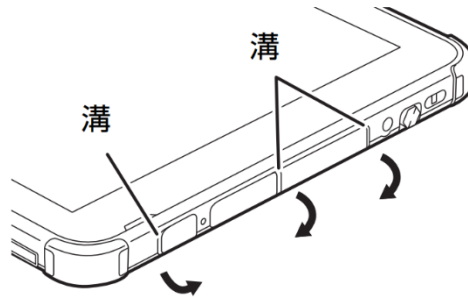
バッテリー

- ・バッテリー残量が空の状態でも長期間放置し続けると、バッテリーが使用できなくなる場合があります。
定期的に充電してください。
- ・バッテリーの劣化を軽減するために、夏休みなど長期間ご使用にならない場合は AC アダプタを接続せずに保管してください。
充電保管庫を利用の場合はタイマーを設定し、充電完了後電源供給を止めてください。

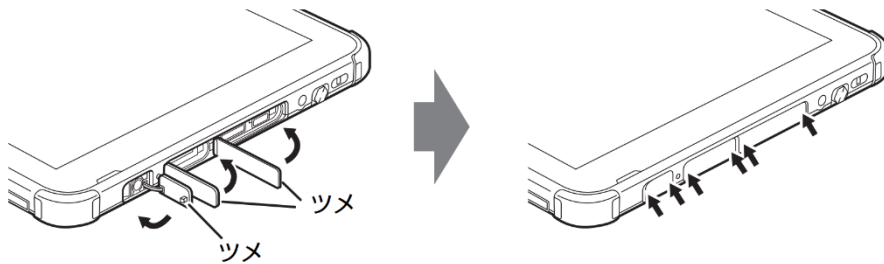
その他の使用時の注意事項

端子カバー、スロットカバー

カバーを開けるときには、次の図に示す溝に指を掛けて少し引き出し、矢印の方向にカバーを開けてください。



DC-IN コネクタやメモリスロット、USB 機器を使用し終わったら、矢印のように動かしてカバーを閉じ、カバーの両端を同時に指で押してツメを押し込みカバーの浮きがないことを確認してください。



- ・カバーを開閉するときは、強く引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。カバーが脱落する可能性があります。
- ・手が濡れているときやタブレットに水滴がついているときには、カバーの開閉はしないでください。

タブレット本体

- ・電源が入っている状態で、タブレット本体の上に物を置かないでください。誤操作や故障の要因になります。



- ・電源が入っている状態で布や紙などで覆わないようにしてください。
熱がこもり故障や変形の原因になります。
- ・机の上など安定したところでご使用ください。
手に持って使う際はしっかりと持ってお使いください。
不安定な状態で使用すると落下するなど破損のする原因になります。
- ・本体が濡れた場合は、乾いた布でふき取って乾かしてください。
- ・パソコンをアルコール消毒する場合は、消毒薬（注）をマイクロファイバー布にしみこませて、余分な水分を絞り、爪や指輪などで画面に傷を付けないように注意しながら、やさしくゆっくりと拭いてください。

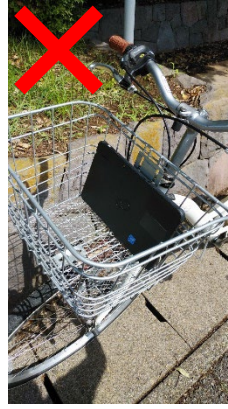
（注）

消毒用エタノール（アルコール濃度 76.9～81.4vol%）をお使いください。

※無水エタノール、エタノール、エチルアルコールなど、アルコール濃度の高いものはお使いになれません。

持ち運び

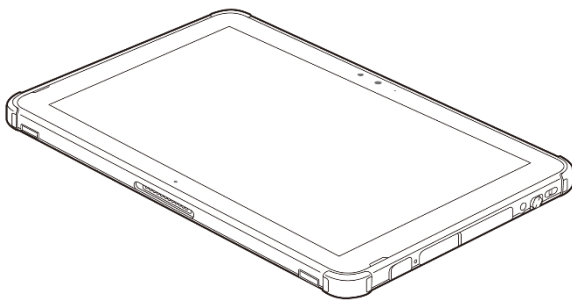
- ・自転車やバイクのカゴなどにタブレット本体を直接入れて運ばないでください。
カバン、専用ケースなどに入れて持ち運んでください。



- ・カバンに入れて持ち運ぶ際は、タブレット本体への圧迫を防ぐため、詰め込みすぎないように気を付けてください。
また、電源が入っている状態でカバンの中に入れてたりしないでください。
タブレット本体の誤操作や発熱による故障の原因になります。

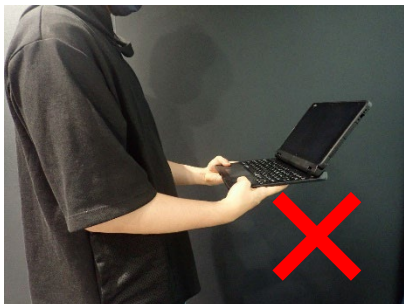


- ・タブレットを持ち歩くときは、接続している機器（USB マウス、ヘッドフォン、モニタ、ACアダプタなど）は全て外してください。
接続したまま持ち運ぶと、接続部に負荷がかかるなど故障の原因になります。



持ち運び例

パソコンを持ち運ぶときは液晶ディスプレイを閉じ、両手で抱えて運んでください。



お問い合わせ

学校/教育機関でタブレットをお使いの児童・生徒・先生・保護者の皆様

タブレットが配布された学校／教育機関へご質問ください。

学校／教育機関のタブレットをサポートしていただいている業者様

富士通の担当営業／SE、または販売パートナー様へお問い合わせください。

お問い合わせ先が不明な場合は、富士通 Japan お客様総合センターへご連絡ください。

お電話でのお問い合わせ



0120-835-554 (通話料無料)

富士通 Japan 株式会社 (お客様総合センター)

受付時間 9時～12時、13時～17時30分 (土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

タブレットの取り扱いについて (STYLISTIC Q5011/Q5010 用)

富士通株式会社

2024年1月

- この文書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- この文書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。